

梅田貨物駅の百済駅移転 市は地元で一定の役割を

加藤議員 私の地元であることになっているが、百済駅への移転は、事業主等の整備には、地域の振興もある百済駅への貨物移転について質問したい。

大阪駅北地区の開発区域については、中核機能となるナレッジ・キャピタルに入居を希望する事業者も決まり、開発事業者の募集も予定されている。民間開発が動き出し、関西の経済活性化、大阪再生の大きな起爆剤となるものであり、大いに推進してほしい。

梅田貨物駅の先行開発に引続き、全体区域の開発を行うためには、貨物駅の移転が必要となる。梅田貨物駅機能の約半分が吹田操車場跡地に、残りは既設の百済駅を改修して、その機能を確保す

ることになっているが、環境影響評価手続きも終わり、本年度早期の着工に向けて調整がなされていくとされている。

百済駅移転については、百済駅移転については、年十月二十一日に東住吉区と育和連合町会長から、鉄道・運輸機構に対し、移転計画に対する具体的な要望書が示された。

その主な内容は、①百済会と協議する。環境に配慮し、移転分を含め、年間の貨物自動車等の使用を図る。影響等

も地元連合町会と継続的に誠意をもって交渉を続けてきたことは地元から歓迎されているが、現在どの問題を生じたときには適切に対応すること、駅構

内での作業等万全の環境

井上計画調整局大阪内での作業等万全の環境

③ 駅施設

した。

このような状況を踏まえ、鉄道・運輸機構は、移転・改修計画及び平成十八年度から工事については概ね地元町会等の理解が得られたものと考えており、百済駅改修工事を吹田貨物ターミナル（仮称）の新設工事と同時期の平成十八年早期に着工したいと考えている」との報告があった。

加藤議員 平成十八年度からの着手については概ね地元理解が得られたものと考えているとのことであるが、この間、地元との会合には大阪市も出席してきたと聞いている。まちづくりにも関わることであり、地元の会合では大阪市も一定の役割を果たしてくれるものと思うが、大阪市としては平成十八年度からの着工についてどのように考えているのか。

井上課長 この工事は

鉄道・運輸機構が実施する事業であるが、大阪市としても移転によって貨物自動車の走行等に伴う交通や環境への影響については、できる限り配慮された計画となるよう、鉄道・運輸機構に対し、働きかけてきたところであり、また、周辺のまちづくりとの関係も強いことから、地元からの要請もあり、地元連合町会代表者と鉄道・運輸機構との会合にも出席し、地元の意見が計画に反映されるよう取り組んできた。大阪市としても、今後とも鉄道・運輸機構が関係地域と誠意をもって協議し、円滑な事業実施に至るものと考えている。

加藤議員 この問題について、協議内容を守り地元の声を誠実に取組むよう、市は働きかけるよう強く要求しておく。